

広島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	会計学
科目基礎情報						
科目番号	1934010			科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	流通情報工学科			対象学年	3	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	はじめて出会う 会計学					
担当教員	田上 敦士					
到達目標						
(1)会計の基本的な仕組みを理解する。 (2)基礎理論を自分の言葉で説明できる。 (3)実際の経営問題を会計の観点から理解し疑問を究明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	会計について、会計基準、収支、利益、複式簿記、資産などについての概念を整理し、示すことができる。		会計についてについて概念を整理し、示すことができる。		会計について概念を整理し、示すことができない。	
評価項目 2	会計について、企業の決算、会計監査、粉飾決算、などについての概念を整理し、示すことができる。		企業会計について、決算、監査の概念を整理し、示すことができる。		企業会計について、決算、監査の概念を整理し、示すことができない。	
評価項目 3	実際の会計問題について、東芝やエンロンなどの例をあげ、分析し説明することができる。		実際の経営問題について、その概念を整理し、示すことができる。		実際の経営問題について、その概念を整理し、示すことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	社会に出ていく上で必要となる幾つかの知識のうち、会計学の知識・理論を学びます。一つ一つの企業がどのような金銭的なメカニズムで動いているのか、それをどう理解し自らのものとし、社会人として活動するのか、を学びます。授業は座学が中心ですが、講師からの一方通行ではなく、講師と学生の皆さん、また、学生の皆さん同士での議論を通じた成長を目指します。そのために、自発的な学びの姿勢が重要です。適宜課題をだします。積極的な参加を必要とします。					
授業の進め方・方法	前回までの授業内容を復習し自らのものとして次の授業に参加してください。一人一人の、積極的な参加を求めます。					
注意点	当然ですが、授業の妨げとなる行為は禁止し、これにペナルティを課します。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	会計とは		会計の目的	
		2週	会計とは		会計基準と会計制度	
		3週	会計とは		会計基準と会計制度	
		4週	会計とは		収支の期間配分	
		5週	会計とは		利益の認識と測定	
		6週	会計とは		複式簿記	
		7週	会計とは		複式簿記	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	資産と負債		資産と負債	
		10週	資産と負債		資産と負債	
		11週	資産と負債		費用配分	
		12週	資産と負債		費用配分	
		13週	資産と負債		資本会計	
		14週	資産と負債		資本会計	
		15週	資産と負債		資本会計	
		16週	答案返却・解説			
後期	3rdQ	1週	企業の会計		決算書の分析	
		2週	企業の会計		決算書の分析	
		3週	企業の会計		会計単位	
		4週	企業の会計		会計単位	
		5週	企業の会計		会計情報	
		6週	企業の会計		会計情報	
		7週	企業の会計		財務諸表の歴史	
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	会計にまつわる問題		会計監査	
		10週	会計にまつわる問題		会計監査	
		11週	会計にまつわる問題		会計監査	

		12週	会計にまつわる問題	粉飾
		13週	会計にまつわる問題	粉飾
		14週	会計にまつわる問題	事例①エンロン
		15週	会計にまつわる問題	事例②東芝
		16週	答案返却・解説	

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート・課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	40	0	0	0	100
基礎的能力	10	10	0	0	0	0	20
専門的能力	20	10	20	0	0	0	50
分野横断的能力	0	10	20	0	0	0	30